

職場の問題解決

山口新聞「東流西流」令和2年4月5日掲載

職場や家庭、地域などどんな組織でも日常的にいろんな問題が起こります。前回の「護身道の技」のような対応がそのまま応用できます。

不満の多い職場での事例です。ある人が職場を代表して問題を提起します。その問題を解決すると、また次の問題が起きます。これでは切りがないと思い、その人にメンバーを集めて職場をよくする検討をしようと提案しました。その人の気持ちを受け止めたためか、その人はその後一切問題提起しなくなりました。全体を見るため、職場の問題点を全て洗い出し、本質的問題は何かを探つて手を打つと、職場の不平不満は収まりました。

現在は地元の柳東文化会館で月2回、柳井護身教室を開いています。私と同年代以上の方々がメンバーですので、教室では心地よく過ごしていただけるように運営しています。暴漢も危険ですが、ストレスや体の歪みも体に良くないのです。暴漢へは護身術で、ストレスには脳力開発で、ゆがみには準備運動の操体で対応できるように勧めています。最後はメンバーからの提案でお茶を飲みながらのフリータイムです。

5月からは本格的に護身道と脳力開発を学ぶために、柳井武道館で護身道教室を開く予定です。既に若くて熱心な方々と助走を始めています。